

年度スローガン

～ 笑顔の`わ、みんな で ～



平成28年3月15日

広報 はばたき

第38号

新発田青少年健全育成市民会議

少年団体交歓会

わくわく合宿

平成27年11月7日(土)・8日(日)
胎内市 新潟県少年自然の家



2日間よろしくおねがいします



広いグラウンドで「ナイスショット！」



みんなで楽しくわくわくゲーム



おいしい夕食「いただきます」



心静かに1日をふりかえり



包丁の使い方も上手



火加減もいい感じ「おいしくなあれ」



なかよく、たのしく、げんきよく、
2日間を過ごしました！

少年団体所属児童および一般参加（4～6年生）児童あわせて103名が、グラウンドゴルフ、わくわくゲーム、キャンドルサービス、豚汁作りなどの活動をしました。1泊2日の合宿でしたが、さまざまな体験を通して充実したひとときを過ごしました。

青少年はぐくみ環境懇談会

平成27年11月25日(水) 会場：豊谷殿

子どもたちの現状 ～私たちのできること～

《参加团体》

- 新発田市少年補導委員会
- 新発田地区少年補導員等連絡会
- 新発田市教育委員会
- 新発田青少年健全育成市民会議



新潟青少年サポートセンター
センター長 成田 美和 様

講演会

新潟青少年サポーターセンター
センター長 成田 美和 様

實際に街に出てパトロールをすると以前に比べ、子どもの様子が変わってきています。また、子どもの姿を見かけることも少なくなりました。時々、学校をさぼっているような子を見かけると声をかけますが、面と向かつて反抗する子が少なくなってきました。以前は、反抗的な態度をされることによって、色々な切り口で接することとができました。しかし、今の子どもは反抗することもなく、やけに人当たりがいい感じを受け、こちらの問いかけにも素直に答えてくれます。

また、今の子どもの問題行動には必ず何らかの形でインターネット（以下ネット）が関係しています。スマートフォン（以下スマホ）や携帯での友人関係や男女交際のトラブルや、援助交際の問題等があります。ネットの世界でありとあらゆるところにつながり、周りの大人が分からないうちに子どもが被害に遭っています。昔のように子どものことを親や地域の大人、学校の先生などが取り囲んでいた状況を、今は、あつという間にすり抜けて外の知らない大人とつながることができます。そして、ネットは子どもが自分のことを見て、気づいて、振り向いて、仲間が欲しいなどという欲求をすぐに満たしてくれます。ネットが一概に悪いわけではありません。むしろ、これから生きていく子どもたちは、ネットを上手に使いこなして豊かな生活を送っていかなければならぬと思います。ただ、ネットは子どもの心の隙間をすぐに埋めやすいということを大人に気づいてほしいです。

最後に、非行防止教室やネットトラブル防止教室では、困ったことがあったら、すぐ大人に相談しましょうと強調して言っています。ネットの中で困ったことがあ

現況報告

るとネットで解決しようと思っている子どもが多いです。しかし、現実には起きている問題は、現実でしか解決できない。だから、親や学校の先生、周りの大人に相談してください。

新発田市小学校長会

中浦小学校長 内藤 薫 様

昨年度の当校のアンケートによると、子どもたちがかなりの時間、メディアに関わっていると分かりました。そこで、ネットトラブルなどにつながる可能性を心配し、今年度からメディアコントロールの取組みを始めました。



新発田市小学校長会
中浦小学校長 内藤 薫 様

取組みの一つとして「中浦ルール」という、いわゆるメディアに関する学校からの事項を決め、保護者の方々に提唱しました。これは、メディアに関して家庭でルールを作り、それに基づいて家族会議を開き、話し合い、定期的に追加、修正してルールを見直すこと。また、当校では運動面に力をいれていますので体を動かすこと。そして、最後が一番難しいですが、テレビも含めて夜9時から朝7時までメディアから離れるというルールです。

また、他の取組みとして学校保健員会でメディアについて意見交換をしました。そこで、メディアに子守りをさせないという意見が出ました。これは、ゲーム等をしていると子どもは静かなので、楽だ、という状況ではいけないということです。その他、できるだけ大人は子どもと昔遊びや外遊びをしましょうという意見等が出ました。

今後も保護者と学校が同じ目的のもとで連携していくことが必要であると思いました。



新発田市中学校長
東中学校長 船山 誠 様

新発田市中学校長
東中学校長 船山 誠 様

当校のアンケートによると、携帯・スマホの所持率が三年生より一年生の方が高いという結果が出ました。この結果からこの先、所持率が減ることは考えにくく、ネットトラブルにつながる心配は非常にあると思いました。

トラブルの対応策として、学校が楽しい、自分が成長している手応えがある、みんなの役に立っている、自分は大切な存在なんだと一人ひとりの子どもが感じることが出来る学校にすることだと思っています。部活動や学級経営、学校行事を通して、みんなと一緒に頑張りたいという思いをもち、みんなと一緒に悔しい思いもしたけど頑

張ったと思うことだと思っています。また、予防としていじめゼロスクールで劇をして、全校生徒にディスカッションさせています。他に、外部と連携し、その時々で必要な方々を招いてお話をさせていただいています。これらを通して、トラブルを深刻化させない、そういう技術、力を生徒たちに身に付けさせたいと思っています。

新発田市小中学校PTA連合会
会長 水野 善栄 様

f1よくくの環境懇



新発田市小中学校 PTA 連合会
会 長 水野 善栄 様

子どもたちを取り巻く環境にはさまざまな問題があります。先程、お話がありました、携帯やスマホを使ったネット上のトラブルやいじめをはじめ、最近では特に貧困に関する問題があります。貧困

の環境で育った子どもは、やがて大人になり貧困の部分を受け継いで、食生活や体調面、精神面で負のスパイラルから抜け出せなくなっている現状があります。

また、そこから差別が発生する。子どもたちは非常に傷つき、大人になっても差別されたことを心にとめていて、ずっと悩んでいる。そのような状態を早急に解決できるということはなかなか難しいですが、そこから抜け出せるヒントが何かあったり、抜け出せる環境をみんなで作りあげることが大事だと思います。

今後も関係機関と連携して、子どもたちがより良い生活が送れるように努力して行きたいと思っています。



懇談会の様子

青少年健全育成講演会

平成28年1月16日(土)
会場：生涯学習センター

演 題 「笑って楽しく健全育成」

講 師 新潟落語会 三流亭 楽々 様

～講師プロフィール～

- 昭和47年4月 新潟県巡査拝命
- 昭和49年8月 新潟落語会入会
- 昭和63年より 交通安全、防犯落語や振り込め詐欺防止落語などを創作
- 平成23年3月 新潟県警を3年残して早期退職
- 平成23年4月 新潟県防犯アドバイザー委嘱
- 平成23年9月 第3回社会人落語日本一決定戦 準優勝
- 平成24年9月 第4回社会人落語日本一決定戦 優勝
- 平成26年11月 新潟県警特殊詐欺被害防止お笑い広報大使委嘱



子どもは認めてあげることが大事だと思っています。私には三人の子どもがおりますが、共働きでしたので私の親に預けてお願いしていました。私の親は、子どもたちが絵を書くとき上手だね、歌を歌うとき上手だね、踊りを踊るとすごいねとか、とにかく何をやってもほめてくれました。親の私はなかなかほめることができなかったのです。うれしかったし、ありがたかったです。最近では、共働きが多くなってきた状況ですから、おじいちゃん、おばあちゃんを孫を預かったら、いっぱいほめて認めてあげてください。

それから、最近は子どもをいい子、いい子で育ててしまっている。だから、大人になって、ちよっと何かあるとポキッと心が折れてしまう。あまり猫かわいがりはしないほうがいいと思います。



他に、楽々さんは子どもにまつわる落語「真田小僧」や「初天神」、南京玉すだれを披露し、会場は笑いにつつまれました。また、特殊詐欺についても注意を呼びかけていました。

昔は放任的などころがありました。たが、ちゃんとどこかで親と子が一本つながっていました。子は親が自分のことを見ていてくれる、認めてくれていると思っていました。それが、あるとないとは全然違います。ですから、皆さんはお子さんのことをあまり心配しないほうがいい。自分の子どもなんだから、大したことはない、そんな悪い子にはならないと自信をもって、子育てをなさってください。



新発田地区緑の少年団育成会

松田 和博 様

落語や、御自身の子育て話など、演題のとおり「笑って楽しい」講演でした。子どもを心配しない親はいないが、適度に距離を保ちながら、子どもを信じてあげることが大事なことであった。これからは、子どもをほめて認めていこうと思いました。

特殊詐欺の話は、他人事ではなく、常に用心が肝心であるとのことでしたので、「自分は大丈夫」とは思わず、気をつけたいと思いました。

七葉小学校PTA

近藤 育美 様

講演の中で、「どうしてうちの子は出来ないんだ」と言う親がいるが、あなたの子だからだよなんておもしろい語りに笑ったり、子どもは親が大好きなんですよという言葉にうなずいたり、子育て中の私にとって、肩の力を抜いてもいいんだと思わせる話でした。

そんなに緊張せずに、良い意味で、「蛙の子は蛙」、ありのままのわが子を受け入れて、笑って楽しく子育てすることが、健全育成につながるのだと思いました。

青少年健全育成 「市民一斉パトロール」

平成27年11月3日(火・祝) 出発式：新発田市役所正面

啓発活動：市内6か所

(イオン新発田店・コモタウン・ウオロク東新町店
ウオロク緑店・パテオ西新発田・フレスポ新発田)

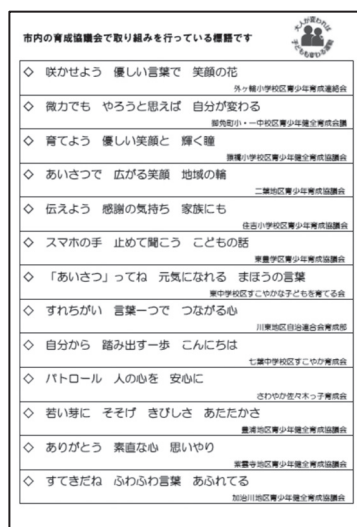


11月の「子ども・若者育成支援強調月間」に合わせ、今年度も小・中学校PTA、各地区青少年育成協議会、関係機関等のみなさん250名にご協力いただき、市役所正面での出発式後、市内6か所にて青少年健全育成活動についてご理解とご協力をお願いしました。また、この日以外に地区行事に合わせて行うところもあり、たくさんの市民のみなさんに呼びかけをしました。

呼びかけに際して、下のようなクリアファイルを配布しました。このクリアファイルは、赤い羽根共同募金「地域支え合い活動支援事業助成」により作成させていただきました。ありがとうございました。



(表)



(裏)



ネットトラブルから子どもたちを守るために ～保護者の皆様へ～

昨今、携帯、スマホ、ゲーム機などの急速な普及に伴い、様々なトラブルや事件・事故に巻き込まれるケースが全国的に増加しています。このような事例を防ぐために保護者にできることがあります。

《乳幼児》 テレビ、DVD、スマホに子守りをさせない！

ネット依存は、乳幼児から始まっています。子どもを静かにさせるために、安易にスマホなどを見せることはやめましょう。親子の会話や絵本の読み聞かせ、外遊びなどの体験を共有する時間を増やしましょう。



《小学生》 家庭でのルールをつくりましょう！

ゲーム機、携帯などの機器を与える際は、親子で一緒にルールをつくりましょう。また、ゲーム機や音楽プレイヤーなどにもネットに接続できるものがあります。必ずフィルタリングを設定しましょう。

《中・高校生》 ネットの危険性について十分認識しましょう！

長時間使用による「生活習慣の乱れやネット依存」、SNS利用による誹謗中傷、悪口などの「いじめ」、自分の名前、アドレス、写真などの掲載による「個人情報流出」、出会い系サイト等の利用を通じて「悪意のある大人とつながる」などの危険性があります。これらの危険性について子どものみならず、保護者も十分に理解したうえで指導していきましょう。



ろうきん新発田支店地区育成会様よりご寄附をいただきました

平成27年10月21日（水）新発田市民文化会館で、夜回り先生からのメッセージ「がんばらなくていいんだよ。」特別チャリティー講演会が行われました。当日は、水谷修先生のメッセージをたくさんの皆さんが受けとめました。

また、この講演会の入場料を新潟県労働金庫新発田支店開設60周年を記念して、ご寄附をいただきました。

ありがとうございました。



あとがき

先日、車を運転していて赤信号で止まったら、小学生の子どもが「ありがとうございます」と、お辞儀をして行きました。よく見かける光景ですが、その日一日あたたかい気持ちになりました。

一方、マスコミでは連日、児童虐待やいじめの問題が報道されています。どうして周りの人は気づいてやれなかったのかと思うと、胸が痛みます。

子どもの出発点は皆同じです。私たちは今一度、子どもと向き合い、健全な大人になるように努めていかなければならないと思います。

（編集委員 渡辺 富子）

発行 新発田青少年健全育成市民会議
事務局 新発田市青少年健全育成センター
住所 新発田市緑町二丁目六番三十六号
電話 (〇二五四) 二六〇八九七

編集委員

猿子 洋司 前田 清
渡辺 富子 金田 緑
荒川 真里子